

原子力に依存しない自然エネルギー政策に転換を求める意見書

九州電力の原発が停止している現在でも電力供給に余力があることは、九州電力の資料でも明らかです。今こそ原子力依存から撤退を決断し、原子力発電所を計画的に廃止し環境にやさしい再生可能エネルギーに政策転換を進めるべきです。

県民の生活と安全に責任を持つ鹿児島県知事は、原子力に依存しない自然エネルギー政策に転換を求めるよう、国及び原子力規制委員会に対応することを求めます。

記

「住民の安全を守る」一点で一致して、原子力に依存しない自然エネルギー政策に転換を求める決議を求めます。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 26 年 7 月 11 日

始良市議会議長 湯之原 一郎

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎 殿